

地産地消の促進に関する令和4年度施策等の実施状況について

1 要旨・目的

ひろしま地産地消推進県民条例(平成23年広島県条例第24号)第13条の規定に基づき、令和4年度の地産地消の促進に関する施策の実施状況について公表する。

2 現状・背景

公表に際し、広島県地産地消促進計画(第3次)(令和3年3月策定)において掲げた「知ってもらおう・知る」「作る・届ける」「買う・使う」「つながる」の4つの視点で、施策を実施した。

3 令和4年度の実施状況

ア 【知ってもらおう・知る】

取組の方向

- インターネットによる若い世代への積極的な情報発信
- 戦略に基づくイベントや店舗等での効果的なPR
- 食の安全・安心などの普及啓発

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R4取組の実施状況および成果	担当局(課)
(ア) ひろしま地産地消推進事業	・「ひろしま地産地消ファンクラブ」(ホームページ、フェイスブック等SNS)による県産農林水産物や直売所等の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNS等で定期的にイベント等の旬な情報を発信したことで、ホームページ閲覧数の増加につながった ・ホームページ閲覧数 【4/1～9/30】18,587件 (R3:16,236件) 【10/1～3/31】25,809件 (R3:20,725件) ・30歳代以下の若い世代をターゲットにSNS等を活用し、情報発信やTwitterを活用したキャンペーンを開催し、フォロワー数増加につながった(キャンペーン期間:3/8～3/19) ・Twitter(ツイッター) 【投稿数】52件(R3:121件) 【フォロワー数】4,081名(R3:150名) 	農林水産局 (販売・連携推進課)

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局（課）
		<ul style="list-style-type: none"> Instagram（インスタグラム） 【投稿数】46件（R3：37件） 【フォロワー】523名 （R3：158名） Facebook（フェイスブック） 【投稿数】53件（R3：125件） 【フォロワー】5,198名 （R3：5,121名） 	農林水産局 （販売・連携推進課）
(イ) 6次産業化総合支援事業（広島県産応援登録制度実施事業）	<ul style="list-style-type: none"> 審査会に合格した商品の登録 登録商品のPR （専用ホームページによる実需者へのPR 量販店等でのフェアの開催等による消費者へのPR） 登録された農林水産物等の販路開拓の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 広島県産応援登録制度ウェブサイトで、登録商品等の情報の更新及び発信の継続 商品ページへ出荷情報の追加や、「チア！ひろしま」ロゴ掲載などによるウェブサイトの改善 広島県産応援登録制度ウェブサイトR4年度ページビュー数：290,408 （R3：323,788） 	
(ウ) 食の安全・安心確保対策事業（環境にやさしい農業等推進事業）	<ul style="list-style-type: none"> 量販店等でのフェアの開催等による消費者へのGAPのPR GAP認証の意欲ある経営体への実践研修 「安心！広島ブランド」特別栽培農産物の認証及び資材の提供を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 量販店等でのフェアで、GAP商品の販売やのぼり・パンフレットを活用したPRを行った結果、消費者のGAPへの認知度向上及び理解促進を図ることができた GAP認証取得実践研修受講により1件のGAP認証取得につながった 「安心！広島ブランド」特別栽培農産物【新規認証数】182件 （R3：198件） 	農林水産局 （農業技術課）
(エ) 食の安全・安心確保対策事業（食品表示指導・監視事業）	<ul style="list-style-type: none"> 広島県食品の適正表示推進者育成講習会及びフォローアップ講習会の開催 食品表示法権限移譲市町等研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 食品関係事業者に対して、講習会を実施し、適正な食品表示を推進する核となる人材の育成を図った 【参加者数】180名 （R3：144名） 権限移譲市町研修会実施 【実施回数】2回（R3：2回） 	
(オ) 瀬戸内地魚のブランド化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内の魚の認知・評価を高めるため、瀬戸内の魚を満喫できるコース料理をモニターに提供する営業実証を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 12店舗において営業実証を実施 瀬戸内の美味しい魚の魅力を広めるため、「瀬戸内さかな」というネーミングとシンボルマークを作成 	農林水産局 （水産課）

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局（課）
(カ) 広島和牛ブランド構築事業	<ul style="list-style-type: none"> 比婆牛の営業実証や、味の特長の調査等、広島和牛ブランドの付加価値向上に向けた取組を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県内高級飲食店 11 店舗による年 3 回の営業実証によって、8 店舗の継続的な取扱い希望につながった 味覚調査及び他県産和牛との比較調査により、比婆牛肉の特定成分が他県産牛肉より多い傾向にあることが明らかとなった 第 12 回全国和牛能力共進会での受賞（全国 3 席）及び情報発信により、本県の和牛の歴史や生産者のこだわりを広く周知できた 	農林水産局 （畜産課）
(キ) 家畜伝染病予防事業	<ul style="list-style-type: none"> 96 か月齢以上の死亡牛全頭の B S E 検査実施 家畜伝染病予防法に基づく、飼養衛生管理基準の指導やモニタリング調査等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> B S E 検査を計画的に実施し、対象牛全頭陰性を確認 【対象頭数】148 頭 （R 3 : 127 頭） 家畜伝染病発生防止に関する指導を実施 【農場数】740 農場 （R 3 : 755 農場） 高病原性鳥インフルエンザの発生防止のため、飼養衛生管理基準の指導を実施し、概ね遵守されていることを確認 全国的に鳥インフルエンザが発生し（26 道県 84 事例）本県でも発生した【検査戸数】延べ 55 戸（R 3 : 131 戸） 	
(ク) 豚熱等の重大な動物感染症対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 県内で飼養される豚等に対し、豚熱ワクチンの初回接種及び追加接種 県内で捕獲された野生いのしし及び発見された死亡いのししの、豚熱等の感染状況調査 	<ul style="list-style-type: none"> 豚熱ワクチンの接種状況 【接種豚】329,776 頭 野生いのしし等の感染状況検査 【検査数】331 頭 （野生いのしし：300 頭中 4 頭陽性） （死亡いのしし：31 頭中 14 頭陽性） 	
(ケ) 漁場環境・生態系保全向上対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 貝毒プランクトン調査、貝毒検査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 貝毒プランクトン調査や貝毒検査を実施し、食品としての安全性の確保に努めた 【プランクトン調査回数】24 回 （R 3 : 24 回） 【貝毒検査検体数】203 検体 （R 3 : 167 検体） 	農林水産局 （水産課）

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局(課)
(コ) 「ひろしま環境の日」行動宣言事業	・「エコ」に取り組む団体の登録や取組内容の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしま環境の日」の趣旨に賛同し、地産地消を含むエコな買い物やエコドライブ・エコ通勤、省エネ生活等に取り組む団体の登録や取組内容等についての情報発信を行った ・登録団体数：1,663 団体 (R 3：1,658 団体) 	環境県民局 (環境政策課)
(サ) 食育推進事業(計画推進及び普及啓発事業)	・食育推進計画の推進、普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・適度な運動やバランスの良い食事などの項目から目標を自ら選んで取り組み、記録する「けんこうチャレンジ」事業に参画し、健康づくりや野菜摂取増につながる活動をする方が増えるよう取り組んだ【パンフレット配布数】49,050部(R 3：54,750部) ・食生活改善推進員による集会実施状況：3,069回(R 3：食生活改善推進員による訪問・対話の実施：19,342件) ・ベジチェック(推定野菜摂取量測定機器)測定会を実施 また、野菜摂取への動機付けとして、ベジフルチャレンジ(野菜摂取量を記録し応募するとプレゼントが当たる企画)も実施 【ベジチェック測定会】 実施回数：2回 参加者：215人 【ベジフルチャレンジ】 参加者数：558件 	健康福祉局 (健康づくり推進課)

【市町・関係団体の取組】

- ・地域ブランド農産物等の普及啓発
- ・地域の特産品を活用した商品開発
- ・地産地消イベント等の開催及び情報発信
- ・直売施設に対する運営支援
- ・認証店制度やマーク等を活用した地場産の可視化
- ・環境にやさしい農業の推進

＜具体的な事例＞

- ・尾道産農林水産物を使用した「2022 尾道おやつコンテスト」を開催。尾道ブランド農産物認証を受けた「はっさく」を使用したおやつを公募。審査結果を地域情報誌への掲載やチラシ配布をすることで、尾道産食材のPRにつながった。(尾道市)
- ・環境に配慮した3-R(耕畜連携資源循環ブランド)の取組の認知向上に向けて、量販店で3-Rマルシェを5日間(9/21~9/25)実施した。家族連れが多く、若い世代に3-Rの取組をPRできた。(全農ひろしま)

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標 (R 7年度)
県内農産物を意識して購入している人の割合 (全体) (%)	80.6(R元)	93.0(R4)	現状の高水準を維持
県内農産物を意識して購入している人の割合 (30歳代以下) (%)	71.9(R元)	91.1(R4)	80
多少高くても県内産を購入する人の割合 (%)	56.2(R3)	54.9(R4)	R3から10%増
GAP認証経営体数	46(R元)	56(R4)	156

イ 【作る・届ける】

取組の方向

- 地域の核となる企業経営体の育成
- スマート農業の実装等による生産性の向上
- 新規就業者等の新たな担い手の確保・育成
- 担い手への農地集積と基盤整備
- 中山間地域農業の活性化
- 持続可能な広島和牛生産体制の構築
- かきの安定生産出荷体制の構築
- 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R4取組の実施状況および成果	担当局(課)
(ア) 6次産業化総合支援事業(広島県産応援登録制度実施事業)	・広島県産応援登録事業者に対し、ECサイトによる非接触型販売を案内	・本案内によりECサイトにて販売が決定した事業者: 2事業者	農林水産局 (販売・連携推進課)
(イ) ひろしま型スマート農業推進事業	・有利販売に向けた収穫予測システムの開発(軟弱野菜、カット用青ねぎ、トマト)	・実証フィールドで収穫予測システムの精度を高める取組を進めている 【地区数等】3地区 (R3: 2地区) 【R3年度実証開始】 安芸太田町: ほうれんそうなど軟弱野菜 東広島市: カット用青ねぎ 【R4年度実証開始】 呉市: トマト	農林水産局 (農業経営発展課)

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局 (課)
(ウ) 新規就農者育成総合対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就農準備資金:研修機関で研修を受ける者に対し、就農前研修期間中の所得を確保するため資金交付 ・経営開始資金:経営開始後の自営就農者に対し、就農直後の所得を確保するため資金交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・【新規就業者】120名(農業89名、畜産業31名) (R3:124名(農業84名、畜産業40名)) ・新規就農者育成総合対策事業利用者 【就農準備資金】17名 (R3:21名) 【経営開始資金】136名 (R3:135名) 	農林水産局 (就農支援課)
(エ) 農地中間管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構の運営及び農地所有者への意向確認等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構を通じて農地を集積 【集積面積】452ha (R3:502ha) 	
(オ) 農地集積加速化支援事業(機構集積協力金)	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積に協力する者等に対して機構集積協力金を交付 		
(カ) 経営力向上支援事業(ひろしま農業経営者学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある農業経営者に対する経営者意識の醸成及び経営スキルの向上を目的とした研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま農業経営者学校の6コース(経営発展チャレンジ、経営発展実践、課題解決、先進経営視察、ミドルマネジメント、トップマネジメント)を実施 【修了者数】61名 ・この結果、経営発展に向けた事業計画の作成に結びついた 【事業計画作成者数】25名 (R3:30名) 	農林水産局 (農業経営発展課)
(キ) 経営力向上支援事業(企業経営実践支援のうち農業経営者サポート事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・経営発展の過程で直面する課題解決に向けた専門家派遣による支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士や社会保険労務士などの専門家を派遣し、法人化や雇用・労務管理など、経営体の個別課題の解決に向けた支援を実施 ・専門家派遣経営体数:43経営体 (R3:67経営体) 	

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局（課）
(ク) ひろしま型スマート農業推進事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま型スマート農業技術の確立と経営モデルの構築に向けた実証試験を実施 ・「ひろしまスマート農業推進協議会」が農業者等を対象に、セミナー等を開催し、スマート農業の普及啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域に対応したスマート農業を確立し、普及していくため、実証フィールドを設け、プロジェクトを行った【地区数等】6地区【R 3 年度実証開始】安芸太田町：ほうれんそうなど軟弱野菜東広島市：カット用青ねぎ世羅町：ぶどう【R 4 年度実証開始】呉市：トマト尾道市：レモン等かんきつ安芸高田市：水稻 ・農業者等に協議会への会員登録を促すとともに、スマート農業技術の動向や実証事業の取組を紹介するセミナー等を6回開催した【協議会登録数】270名（農業者41名、企業等229名） 	農林水産局 (農業経営発展課)
(ケ) 園芸作物条件整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手による園芸作物導入や規模拡大を図るうえで支障となっている耕作条件を改善する簡易整備事業の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・土層改良や排水対策を支援し、園芸作物の面積拡大、単収向上に取り組んだ【経営体数】12経営体（6市町）（R 3：10経営体（5市町））【取組面積】14.0ha（R 3：9.9ha） 	
(コ) 農業技術大学校費事業	<ul style="list-style-type: none"> ・短期インターンシップや模擬経営実習を行うとともに、最先端のスマート農業機器を導入し、生産から販売まで一貫した技術体系の習得を図る ・年2回オープンキャンパスを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期インターンシップ参加者（1年生）：18名（R 3：27名） ・模擬経営実習参加者：2名（R 3：2名） ・オープンキャンパス【実施回数】2回（6/18、8/3）（R 3：2回）【参加者数】54名（高校生等）（R 3：38名） 	農林水産局 (農業技術課)
(サ) 集落営農活性化プロジェクト促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農の活性化に向けたビジョンづくり及びその実現に向けた取組に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの集落法人においてビジョン策定及び実現に向けた取組を実施 	農林水産局 (就農支援課)

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局（課）
(シ) 鳥獣害に強い集落等育成推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害対策プログラムを通じた市町への対策支援（対策技術向上の研修会開催、被害対策実施のための講師派遣、新技術に関する情報提供等） 	<ul style="list-style-type: none"> 市町が計画した鳥獣被害対策の実施に当たり、県へ求める支援内容等を記した鳥獣被害対策プログラムが県に提出された。R 4 から 1 市町が新規で作成 【作成市町数】 21 市町 (R 3 : 20 市町) 集落等の指導に必要な被害対策技術を習得したい市町担当者等を対象に、鳥獣被害対策アドバイザースキルアップ研修を実施したほか、随時新技術の情報提供や、地域で開催される研修会へ要請に基づき講師を派遣した スキルアップ研修実施実績 【対象】地域で対策を指導する者（市町職員など） 【実施回数】 6 回 【市町等出席者数】 延べ 279 名 (R 3 : 7 回、延べ 257 名) 	農林水産局 (農業技術課)
(ス) 広島和牛経営発展促進事業(経営力向上集中支援事業)	<ul style="list-style-type: none"> 畜産経営体の人材育成、予算・実績管理などの経営発展課題を解決するためのセミナー開催等 	<ul style="list-style-type: none"> チーム型支援：1 経営体 G A P の取組に向けた地域セミナーの開催：1 回 県域セミナー：2 回 	農林水産局 (畜産課)
(セ) 広島和牛経営発展促進事業(広島血統和牛増産事業)	<ul style="list-style-type: none"> 高い受胎率が期待できる和牛受精卵（ガラス化ダイレクト卵）の供給 酪農経営と肥育経営における受精卵産子の供給協定に係る取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 高い受胎率が期待できる和牛受精卵移植頭数：130 頭 (R 3 : 35 頭) 受精卵産子の県外流出を防ぐため、県内酪農経営体から県内肥育経営体への直接取引の拡大を図った 【直接取引頭数】 127 頭 (R 3 : 112 頭) 	

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局（課）
(ノ) 水産スマート化推進事業（水産資源の回復）	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用による水産資源回復に向けた漁場改善により、瀬戸内の地魚を安定的に供給する体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 海底耕うんの実施及び海底耕うん後の環境改善効果を検証 福山地区（500m×500m 範囲を3か所）及び尾道地区（1000m×500m 範囲を1か所）で小型底びき網漁船が海底耕うんを合計 100 h a 実施 【実施隻数】 5 隻×4 日×4 カ所 同海域及び、令和3年度に海底耕うんを実施した呉市下蒲刈島及び上蒲刈島地先海域で底質、餌生物、魚を経時的に調査 【地区数】 2 地区 藻場造成海域における周年の水産資源の状況を調査 【地区数】 1 地区 	農林水産局 （水産課）
(タ) 水産スマート化推進事業（かき養殖におけるデジタル技術の活用）	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用によるかき養殖の生産安定化により、かきを安定的に供給する体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 幼生検出技術を導入し、採苗作業の省力化を図った 【地区数】 3 地区 （R 3 : 3 地区） 水温・餌料センサーを設置し、水温等のデータに基づくへい死対策や身入り予測の検討を行った 【設置数】 20 基（水温） 3 基（餌料） 	
(チ) 海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 水産エコラベル認証取得の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 取得を目指す地区について、養殖作業手順書の作成支援等を実施 また、水産エコラベルの認証地区数の増加に向けて、生産者等へ説明会等を実施し、認証取得を促した 	
(ツ) 県営ほ場整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 水田を畑地として利用できるよう、明渠や暗渠の設置や緩やかな傾斜をつけるなどの排水対策等を実施 機械の移動時間や巡回時間の短縮による省力化が図られるよう、農地の大区画化や再整備、農道・水路・畦畔の改良等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 園芸用作物を導入するために農地を整備した 【農地面積】 30 h a （R 3 : 32 h a） 	農林水産局 （農業基盤課）

【市町・関係団体の取組】

- ・新規就農者の技術習得や就農に必要な施設等の整備支援
- ・担い手に対する施設・機械等整備支援
- ・担い手に対する農地集積・基盤整備支援
- ・生産振興・安定供給等支援
- ・地域活性化支援

＜具体的な事例＞

- ・新規就農を希望する定年退職者等を対象に募集・選考し、1年間の栽培技術・出荷研修を行うとともに、農地のあっせんなどの就農支援を行い、直売所などの生産販売農家として育成し、6人が就農した。(広島市)
- ・広島大学と鶏ふん堆肥を使用した持続可能な米作りに向けた共同研究を開始。今後2、3年にかけて、鶏ふん堆肥の施肥量・条件と水稻の生育、収量などを検証し、循環型農業の確立を目指す。(全農ひろしま)

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標 (R 7年度)
キャベツの県内消費量に占める県内産割合 (%)	30.2 (H30)	30.0% (R元) ※R4の直近値はR6.1以降に判明予定	46
米の県内消費量に占める県内産割合 (%)	73.0 (R2)	73.0% (R4)	80
広島和牛の県内向け出荷頭数 (頭)	3,100 (R元)	3,300 (R4)	3,460
水産物の県内市場における県内産割合 (%)	21.8 (R元)	21.5 (R4)	24
かき生産量 (むき身) (トン)	16,100 (R元)	17,100 (R4)	20,000

ウ 【買う・使う】

取組の方向

- 量販店・直売所における売場の魅力向上
- 学校における食育と給食での利活用の促進
- 飲食店等における地場産の可視化・多言語化
- フードバンク等における利活用の促進

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R4取組の実施状況および成果	担当局(課)
(ア) ひろしま地産地消推進事業	・量販店内の県産農産物常設売場の演出支援	・直売所・インショップの担当者等を対象に、POPを活用した魅力的な売場づくりの研修会を開催し、売場の魅力向上意識を高めた 【施設数】14施設 【参加者数】22名(R3:13施設、25名)	農林水産局 (販売・連携推進課)

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局（課）
	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消啓発キャンペーンの実施 ・生産者側とフードバンクや子ども食堂などをつなぐ取組 ・学校給食における地場産物活用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーンの応募方法をwebのみで実施 30歳代以下の割合が増加 【実施期間】11/1～1/31 (3か月間) 【30歳代以下の割合】25.5% (R3:20.0%) ・県内フードバンク等施設の使用状況調査を実施 ・関係機関やイベントでチラシを配布、県ホームページへ掲載することで、フードバンクの取組に係る周知を図った ・庄原市で、地場産物の活用を拡大するため、出荷可能と見込まれる7～10月に、地元の生産者からたまねぎ、じゃがいもについて学校への納入を試行した <p>【実績】4か月間のモニタリングの結果、たまねぎの地場産率が全8調理場で100%、じゃがいもの地場産率が2調理場で100%となった</p>	<p>農林水産局 (販売・連携推進課)</p>
<p>(イ) 広島サミットを契機とした県産農林水産物魅力発信事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県産食材を積極的に活用している店舗の可視化・多言語化 ・県産食材を活用した食の磨き上げ ・県内外におけるメディア向けPRイベントの実施 ・県産食材を使用したおもてなし商品の作成・配布 ・マッチング支援業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・県産食材を積極的に活用した料理や商品を提供し、おもてなしする店舗を「おいしい！広島食べんさい店」として、令和5年3月から募集・登録を開始し、ホームページにて可視化登録店舗：114店舗(R5.3.29時点) ・令和5年2月に「おいしい！広島コンソーシアム」を設置 【磨き上げ実施団体】6 【PRイベント実施回数】3 (県内：2、県外：1) ・県産木材を使用したコースターを作成・一部PRイベントで配布 ・県産食材の活用に向けて第1回試食商談会を実施 【出展事業者】49事業者 【来場者】232人 	

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局（課）
(ウ) 6次産業化総合支援事業（広島県産応援登録制度実施事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県産応援登録事業者を対象とした、販売力の強化支援（商品提案力・商談力の獲得、営業力の強化、取引先の信頼関係の構築等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売アドバイザーによる登録事業者の販売課題に応じた個別相談やパッケージブラッシュアップを実施 【個別相談回数】39回 【パッケージブラッシュアップ件数】2件 ・県内ホテル向け商談会、県外百貨店・加工業者向け商談会及び首都圏バイヤー・シェフ向け商談会を実施 ・販売の専門家や百貨店・加工食品バイヤーを講師にセミナーを開催 【商談会実施回数】6回 【セミナー実施回数】3回 	農林水産局 (販売・連携推進課)
(エ) 地場産業等振興事業（BUYひろしまキャンペーン事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・BUYひろしまキャンペーン（県内製品愛用運動）の実施 ・各種イベントに合わせた県産品フェアの開催 ・ホームページによる県内製品の情報発信の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・BUYひろしま月間（広島発の製品の消費拡大キャンペーン）を実施 【実施時期】7月、12月 ・マツダスタジアムにおける広島東洋カープ主催試合でPR映像を放映 【映像放映回数】22回 ・イベントへの出展等を行い、県産品のPRを行った 【回数】3回 ・SNSにより、イベント情報を発信 	商工労働局 (観光課)
(オ) 地域と連携した食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等における農林水産物の栽培・収穫体験の実施 ・ICT等による給食に使われている地場産物や郷土料理等の紹介 ・地域の関係者と連携した調理実習 ・食に関する専門家等を招聘した出前講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した食育の推進 新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、次の取組を実施 ・栄養教諭や学校栄養職員を対象とした研修において、学校における地域の生産者等と連携した取組や、栽培・収穫体験の実践事例を紹介 ・専門家による出前講座を実施 【実施校数】17校(R3：9校) 	教育委員会事務局 (豊かな心と体育成課)

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局（課）
(カ) ひろしま給食推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県産の食材を活用した給食メニューの開発 ・開発したメニューの全国学校給食週間等での提供 ・食育教材の開発・活用 ・給食の時間で、ICT等による給食に使われている地場産物や郷土料理等の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県産の指定食材5品目（アスパラガス、トマト、マダコ、わけぎ、米）を使用した「ひろしま給食」100万食メニューを開発し、ホームページに掲載するとともにSNS等で広報を行った ・給食を実施している県立学校及び各市町教育委員会へ「ひろしま給食」100万食メニューの給食用レシピを提供 ・地場産物（わけぎ）を活用した食育教材、動画及び「ひろしま給食」100万食統一メニューのレシピ動画を作成し、ホームページに掲載するとともに、各県立学校及び市町教育委員会へ情報提供することによって、各学校での活用を促した 	教育委員会事務局 (豊かな心と体育成課)

【市町・関係団体の取組】

- ・売り場の魅力向上支援
- ・生産者と消費者との交流会等の実施
- ・企業、大学等との連携による地元農林水産物の利活用促進
- ・教育機関と連携した取組
- ・食育の取組
- ・学校給食への地元農林水産物の利用促進等
- ・地場産の可視化・多言語化支援

＜取組事例＞

- ・「みよしふるさとランチの日」として、三次産食材満載の学校・保育所給食の提供を年3回実施。テーマ食材（7月：ズッキーニ、10月：かぼちゃ、2月：白ねぎ）の調達については、農業交流連携拠点施設を活用し、三次産農産物の利用拡大につながった。（三次市）
- ・スーパー・コンビニ惣菜やカット野菜向けに広島県産野菜を供給。消費者がより気軽に広島県産農林水産物を購入できるようになった。（全農ひろしま）

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標（R 7年度）
直売所の売上（億円）	130（H30）	149（R 3）	150
学校給食における地場産物を使用する割合（金額ベース）（%）	58.1（R元）	60.3（R 4）	現状値よりも維持向上

エ 【つながる】

取組の方向

- イベント開催など交流機会の拡充
- 交流・協働の促進
- 移住の促進

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局（課）
(ア) 食のイノベーション推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局での野菜の販売など新たな販売チャネルを開拓する事業者を採択し、活動支援を実施 ・価値のある農産物や規格外の農産物を加工して、ECサイト等で販売する事業者を採択し、活動支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業によって経営発展に取り組む経営体数：5 経営体 	農林水産局 (販売・連携推進課)
(イ) ひろしま地産地消推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士等の養成課程のある大学等を対象とした県産農林水産物を活用したレシピ開発・PRの支援 ・「食」の魅力向上に向けた観光プロダクト開発業務として、ワインと日本酒のイベントを開催 ・3-R（資源循環）の取組の大切さを体験し、学んでもらうために、親子で参加する3-R 稲刈り体験会(田植え・稲刈り)を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・県産農林水産物活用によるレシピ開発や、農林漁業者・消費者等との交流やPRを実施 【事業実施大学等数】8校 (R 3：7校) ・参加者がイベント後にSNSで情報発信を行うことで、地産地消のPRにつながった ・ワイン(庄原市)、日本酒(竹原市)のイベントを開催 【実施回数】各1回 【参加者数】各10名 ・3-R（資源循環）の取組についての理解醸成とブランドのファンづくりにつながった 【実施回数】各1回(田植え・稲刈り) 【参加者数】23名(田植え体験) 29名(稲刈り体験) 	
(ウ) ひろしまフードフェスティバル開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者と消費者、都市と農村の幅広い人々の交流の促進と地域特産物や農山漁村の魅力の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策を行いながら実開催を行った 【入場者数】10.5万人(2日間) ・実開催に加え、WEBを活用したイベントを実施 	農林水産局 (販売・連携推進課)

事業名等	事業内容	R 4 取組の実施状況および成果	担当局（課）
(エ) ひろしまスタイル定住促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 高まっている地方移住の機運を取り込み、定住促進につなげるため、広島らしいライフスタイルの魅力をデジタルマーケティングなどの手法を用いて発信するとともに、「ひろしま暮らしサポートセンター」やAI移住相談窓口を通じた移住希望者と地域のマッチング等に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 移住希望地域ランキング 2022 【セミナー部門】1位 (R 3 : 1位) 【窓口部門】6位 (R 3 : 6位) 移住・定住につなげる仕組みづくりを進めた 【相談件数】4,011組 (R 3 : 4,532組) 【県外からの移住世帯数】596世帯 (R 3 : 484世帯) 	地域政策局 (地域力創造課)

【市町・関係団体の取組】

- ・生産者と消費者との交流促進
- ・移住推進支援
- ・テレビ、ホームページ、広報誌等を活用した県内農業等の情報発信

<取組事例>

- ・農業に興味がある人・手伝いたい人や受入農家を「テゴ隊員」として登録し、テゴ隊員と手伝いを希望する農業者が援農交流すると共に、将来の農業の担い手づくりにつなげている。(R 4 : テゴ隊 : 7人、受入農家数 : 24戸) (尾道市)

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標 (R 7年度)
年間総観光客数(全域過疎市町)(万人)	1,543 (R元)	1,241 (R 4)	R 4までに1,709 R 4以降も同水準を維持
農林漁業体験を行った人の割合(%)	22.7 (H29)	21.7 (R 4)	R 5までに30以上 R 6以降は食育推進計画と連動して見直し